

公 表 日

令和 4 年 6 月 1 日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度 九州地方ダム等管理フォローアップ調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 4 年 6 月 1 日
契約業者名	令和4年度 九州地方ダム等管理フォローアップ調査検討業務西日本技術開発
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-1
契約金額	34,639,000円(税込み)
予定価格	34,639,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	
業務場所	福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4 年 6 月 2 日
履行期間(至)	令和 5 年 2 月 2 0 日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

# 契約理由書

1. 業務件名 令和4年度九州地方ダム等管理フォローアップ調査検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 令和4年度九州地方ダム等管理フォローアップ調査検討業務 西日本技術開発・水源地環境センター設計共同体
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

## 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

### 1) 当該業務の目的

本業務は、近年の九州地方ダム等フォローアップ委員会を通じて得られた評価結果や各ダム等が抱える課題及び学識者の助言を踏まえ、今後、より効率的にダム管理を行うための対応方針を検討するものである。

また、ダム等の管理に資するための基礎資料を作成するために、「ダム等管理フォローアップ年次報告書作成の手引き」に従い、九州地方整備局等の管理するダム等の令和3年度の管理データを整理し、フォローアップ年次報告書を作成するものである。

### 2) 業務の内容

- ・計画準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・九州管内直轄ダム管理フォローアップ調査検討・・・・・・・・ 1式
- ・水質シミュレーションを活用した水質変化現象の要因分析・・・・・・ 1式
- ・年次報告書【個別編】作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・年次報告書【総括編】作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・ダム建設に伴う環境保全措置の実態調査及び活用方策検討・・・・・・ 1式
- ・委員会等運営補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式

### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低55者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を18者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

両者ともに「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」、「その他」及び評価テーマの「的確性」が優れていたが、特に「実施手順の実施フロー」について、関連他業務との連携・調整を記載し、業務を円滑に進めるための工夫が図られ、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川管理課長